

# 糖尿病と診断されたら…①

## 糖尿病治療ガイドにおける治療目標(HbA1c値)

※65歳以上の高齢者の方については下段の図を参照

コントロール目標値 <sup>注4)</sup>			
目標	血糖正常化を <sup>注1)</sup> 目指す際の目標	合併症予防 <sup>注2)</sup> のための目標	治療強化が <sup>注3)</sup> 困難な際の目標
HbA1c (%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定します。

注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とします。

注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とします。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とします。

注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とします。

注4) いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠例は除くものとします。

日本糖尿病学会 編・著：糖尿病治療ガイド2022-2023. 2022. p34. 文光堂より

## 高齢の糖尿病患者さんの血糖コントロール目標値(HbA1c値)

患者さんの状態	低血糖を起こす可能性がある薬(インスリン、SU薬、グリニド薬)の使用	
	なし	あり
● 認知機能 正常 ● 日常生活における基本的な動作や行為を自立して行うことができる。	7.0%未満	<65~74歳>7.5%未満(下限6.5%) <75歳以上>8.0%未満(下限7.0%)
● 認知機能 軽度の低下 ● 日常生活の基本的な動作(トイレ・入浴など)は自立して行うことができるが、買い物や食事の支度、薬の服用、金銭管理などの行為に一部の介助が必要。	7.0%未満	8.0%未満(下限7.0%)
● 認知機能 中等度以上低下 ● 基本的な日常生活の動作に介助が必要。また、糖尿病以外の他の病気を併発していたり、身体機能に障害がある。	8.0%未満	8.5%未満(下限7.5%)

- 血糖コントロールの目標値(HbA1c値)は、患者さんの生活・健康状態や年齢、処方されているお薬、認知機能やほかの病気の有無などが考慮されます。
- 低血糖の恐れのある患者さんは、より安全な治療を行うべく、HbA1c値に下限が設定されることがあります。

日本老年医学会・日本糖尿病学会 編・著：高齢者糖尿病診療ガイドライン2017. 2017. p46. 南江堂より改変

【監修】医薬情報研究所／株式会社エス・アイ・シー、公園前薬局(東京都)薬剤師 堀 美智子 先生